



[YTK]

整理番号：MSDS No. 018-3

1/8

作成日：2013年6月20日（平成25年6月20日）

化学物質等安全データシート(MSDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称 : 中性強化液 (YTK) 型式番号：薬第23～1号
エスピオ用 (評23-010号、評23-011号、評23-021号、評23-022号)

会社名 : ヤマトプロテック株式会社
住所 : 〒108-0071 東京都港区白金台5-17-2
電話番号 : 0570-080100 (ナビダイヤル)
担当部門 : テクニカルサポート室

推奨用途及び使用上の制限：消火薬剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類区分

本品に関するデータが不足している為、GHS分類できない。
現時点で物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性の全項目は、「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 飲み込むと有害の恐れ
軽度の皮膚刺激
眼刺激
生殖能または胎児への悪影響の恐れ
中枢神経系、呼吸器、腎臓、心臓の障害
長期または反復暴露による中枢神経系、呼吸器、心臓の障害
水生生物に有害
長期継続的影響により水生生物に有害

本MSDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。



注意書き

- 安全対策** : 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸引しないこと。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。
- 応急措置** : 取扱い後はよく手を洗うこと。
目に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
皮膚に付着し、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを求めること。
目に入り、目の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。
暴露またはその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。
- 保管** : 使用温度範囲に保ち貯蔵すること。
貯蔵時はみだりに開缶しないこと。
- 廃棄** : 内容物、容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。



[YTK]

整理番号：MSDS No. 018-3

3/8

作成日：2013年6月20日（平成25年6月20日）

3. 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：中性強化液（YTK） 型式番号：薬第23～1号

化学名又は一般名	CAS番号	官報公示整理番号	濃度又は濃度範囲
カルボン酸塩	あり	あり	20～30%
エチレングリコール	107-21-1	(2)-230	3～10%

4. 応急措置

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気のある場所へ移動させ、安静にする。

皮膚に付着した場合：被災者を直ちに多量の水で洗い流し、痛み等の症状が出た場合必要に応じて医師の診断を受ける。

眼に入った場合：被災者を直ちにまぶたを開いて、清浄な流水で15分以上洗眼する。必要に応じて医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：水で被災者の口の中を洗浄し多量の水を飲ませ、医師の診断を受ける。被災者の意識がない場合、口から何も与えてはならない。

予想される急性症状及び遅発性症状：情報なし。

最も重要な徴候及び症状：情報なし。

応急措置をするものの保護：情報なし。

医師に対する特別な注意事項：情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤：不燃性につき、該当しない。

使ってはならない消火剤：該当しない。

特有の危険有害性：特になし。

特有の消火方法：該当しない。

消火を行う者の保護：該当しない。

本MSDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域とし隔離する。

関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業者は適切な保護具（「8. 暴露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。

風上に留まる。

低地から離れる。

密閉された場所は換気する。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

環境中に放出してはならない。

回収、中和、封じ込め及び浄化の方法・機材

少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。

危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策

漏洩物は速やかに回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。

安全取扱い注意事項：特になし。

衛生対策：取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

技術的対策：特になし。

混触危険物質：特になし。

保管条件：密閉状態で、水、他の薬品と混合しない。

容器包装材料：推奨材料は、製品容器。

本MSDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度（暴露限界値、生物学的暴露指標）

エチレングリコール

日本産業衛生学会（2008年度版） 設定されていない。

ACGIH（2008年度版） TWA-STEL C 100mg/m³（エアロゾル）

設備対策

設定されていない。

保護具

呼吸器の保護具 : 適切な呼吸保護具を着用すること。

手の保護具 : 適切な保護手袋を使用すること。

眼の保護具 : 適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣、保護面を使用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 無色透明液体
臭い	: 特有臭
pH	: 7.6 (20℃)
融点・凝固点	: -20.5℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 情報なし
引火点	: なし
爆発範囲	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
蒸気密度（空気＝1）	: 情報なし
比重（相対密度）	: 1.19 (20℃)
溶解度	: 任意の割合で混和する（水）
オクタノール／水分配係数	: 該当しない
自然発火温度	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
臭いの閾値	: 情報なし
蒸発速度	: 情報なし
燃焼性（固体、ガス）	: 該当しない
粘度（粘性率）	: 情報なし

本MSDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。

10. 安定性及び反応性

安定性	：通常の取扱い条件下では安定。
反応性	：情報なし。
危険有害反応可能性	：通常の手扱い条件下では危険有害反応なし。
避けるべき条件	：直射日光を避け、冷暗所に保管する。
混触危険物質	：情報なし。
危険有害な分解生成物	：情報なし。

11. 有害性情報

エチレングリコールとして

急性毒性（経口）	：区分5
皮膚腐食性及び刺激性	：軽度の皮膚刺激（ウサギ）
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	：中程度の刺激性（ウサギ）
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：分類できない
生殖細胞変異原性	：区分外
発がん性	：分類できない
生殖毒性	：区分1B
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	：区分1（中枢神経系、腎臓、心臓、呼吸器）
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	：区分1（中枢神経系、呼吸器、心臓）
吸引性呼吸器有害性	：分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性	：情報なし
残留性・分解性	：情報なし
生態蓄積性	：情報なし
土壌中の移動性	：情報なし
オゾン層への有害性	：情報なし

本MSDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装

関連法規並びに地方自治体の基準に従って、適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号	: なし。
品名	: なし。
国連分類	: なし。
容器等級	: なし。
海洋汚染物質	: 情報なし。
特別の安全対策	: なし。
国内規制	: 陸上規制情報 消防法の規定に従う。
	: 航空規制情報 航空法の規定に従う。
	: 海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	: 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2 施行令第18条の2別表9） エチレングリコール（政令番号75）
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	: 該当しない。
毒物及び劇物取締法	: 該当しない。
消防法	: 危険物に該当しない。
航空法	: 該当しない。
船舶安全法	: 該当しない。

本MSDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。



16. その他の情報

本MSDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。

またすべての化学製品には未知の危険性や有害性があり得るという認識でご使用下さい。危険性や有害性も、使用時の環境、保管状態、保管期間によって異なります。ご使用時を含め、保管、廃棄に至るまで専門知識や経験のある方の指導の元で扱うことをおすすめします。

なお、記載の注意事項は通常的な取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いをする場合には状況に適した安全な条件設定を講じた上で、ご使用者各位の責任において使用して下さい。

本MSDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。
